

図書館
だより

平成29年(2017年)夏 No. 334

- 平成29年度被爆体験継承事業 企画展「橋と樹木のものがたり -被爆から復興、そして未来へ-」・・・ 1面
- ライブラリー・サポーターズ10周年!・・・ 2面
- 高校生の資料・情報活用をサポートしています・・・ 3面
- 図書館司書がおすすめするこの1冊!・・・ 3面
- この日は何の日?・・・ 4面
- 休館日のお知らせ 7月～9月・・・ 4面

平成29年度 被爆体験継承事業

企画展「橋と樹木のものがたり -被爆から復興、そして未来へ-」

会場：中央図書館2階展示ホール 期間：平成29年7月8日(土)～8月31日(木)

あの日、爆心地から2キロメートル以内では、爆風や熱線により多くの建物や樹木が壊滅的な被害を受けました。当時の広島市内に架かっていた50を超える橋も多大な被害を受け、かろうじて落橋を免れた橋も9月の台風や10月の風水害で多くが流出し、建物の全焼区域では多くの樹木も焼き尽くされました。

現在、爆心地から半径5キロメートル以内に残る「被爆橋梁」は6橋のみ、爆心地から半径2キロメートル以内に残る「被爆樹木」は約160本となっています。被爆から70年余り経ち、被爆者から直接その体験を聞く機会が失われつつある今、被爆の実相を伝える「声なき証言者」として、「被爆建物」「被爆橋梁」「被爆樹木」を保存するための取り組みも行われています。

本展では、被爆時に人々の避難や救援の助けとなり、その後の復旧や再建等により復興の要や平和の象徴の一つとなった「橋」と、被爆の惨禍を生き抜き、その新たな芽吹きにより市民へ勇気と希望を与えた「樹木」に焦点をあて、図書館所蔵資料や写真パネル等で紹介します。

今夏、この企画展と関連事業を通じ、平和への思いをあらためて共有するとともに、これから被爆体験を後世に伝えていくために、「今必要なこと」について共に考えてみませんか。

講演会

「いつもそばにいる、被爆樹の声を聞きに
-『広島の木に会いに行く』ができるまで-」

日 時：7月22日(土) 14時～16時
講 師：石田優子氏

(ドキュメンタリー映像作家)

内 容：『広島の木に会いに行く』(偕成社 2015年)の著者、石田優子氏を講師に迎え、同書の執筆にあたっての取材で感じたこと、被爆樹木を通して伝えたいこと、現在制作中の被爆樹木についてのドキュメンタリー映画についてお話しいただきます。



フィールドワーク

「樹々の声を聞きに
-基町周辺の被爆樹をめぐり-」

日 時：7月23日(日) 10時～12時
講 師：堀口力氏(樹木医)

ゲスト：石田優子氏(ドキュメンタリー映像作家)

内 容：樹木医として被爆樹木の調査や治療を行っている堀口氏と広島城のユカリや基町交番前のクスノキ等基町周辺の被爆樹木をめぐります。

石田優子監督作品の上映会を映像文化ライブラリーで開催します

上映作品：「はだしのゲンが見たヒロシマ」(2011年)

日時：7月21日(金) 10時30分～、14時～
7月22日(土) 18時～

*7月22日の上映前には、監督の石田優子氏と製作プロデューサーの渡部久仁子氏による舞台挨拶があります。

*鑑賞料など、詳細は映像文化ライブラリー(082-223-3525)へお問合せください。

企画展、講演会、フィールドワークの詳細は中央図書館(082-222-5542)へお問合せください。

ライブラリー・サポーターズ10周年！

「ライブラリー・サポーターズ（通称リブサポ）」は、こども図書館の行事や館内作業をサポートする中学生・高校生のボランティアの会です。平成 19 年（2007 年）5 月に活動が始まり、今年で 10 周年を迎えました。平成 29 年 5 月現在の登録メンバーは 27 名。絵本の読み聞かせやイベントの手伝い、館内整理作業など、さまざまな活動を楽しんでいます。



こんな活動をしています！ 活動の一部を紹介します

おはなし会



7 月～翌年 3 月の第 3 日曜日のおはなし会では、リブサポのメンバーが幼児・小学生に向けて、絵本の読み聞かせをしています。

子どもたちは、絵本を読んでくれるお兄さん、お姉さんに親しみを感じながら聞いているようです。

おすすめの本の展示

こども図書館 1 階の「かりるへや」には、メンバーが選んだおすすめ本を集めたコーナーがあります。手作りのPOPには、イラストなどが添えられていて楽しいですよ！ぜひ本を手にとってみてください。



イベントの企画やサポート

こども図書館で開催される講演会や、子どもを対象にしたイベントの企画やサポートをしています。平成 28 年度は、メンバーの提案をもとに、幼児・小学生を対象とした工作の会やカルタ遊びの会なども開催しました。



「リブサポ・クローバーのおたのしみ会」↓
平成 29 年 5 月 28 日

青少年センターの高校生保育ボランティアグループ Clover のメンバーと一緒に、絵本の読み聞かせなどを行いました。



↑「読書が楽しくなるしおりをつくろう！」
平成 28 年 9 月 18 日

小さな子どもたちと一緒に、色画用紙やシールなどを使ってしおりを作りました。

イベントに参加したメンバーの声

☆年下の子どもたちと接することができて楽しかった。

☆学校も学年も違う友達ができる！

☆読み聞かせの時の子どもの反応が嬉しかった。

メンバーは随時募集中！「図書館のイベントを手伝ってみたい」なんて思っている人、「こども図書館のココが変わったら利用しやすいのに…」という意見がある人、ぜひ参加してみませんか？

- * 対象 市内に在住または通学の中学生・高校生（高校生相当の年齢の方を含む）
- * 活動日時 毎月 第 2 土曜日 13 時～16 時半（カウンター業務・館内装飾等）
※ 時間内で自由参加
毎月 第 3 日曜日 10 時～12 時（イベント等）
13 時～15 時（おはなし会）
- * 活動場所 主に、こども図書館

高校生の資料・情報活用をサポートしています

中央図書館では、高校生の学習支援や読書活動推進のため「高校生のための職業ハッケン！！コーナー」の設置や高校への出前ブックトークなどを実施しています。

また、起業教育の推進のため、日本政策金融公庫主催の「高校生ビジネスプラン・グランプリ」への応募を目指し、「ビジネスプラン作成講座」を開催しています。今年度も7月17日（月・祝）に講座を開催し、8月20日（日）に応募のためのフォローアップ個別相談会を開催します。

この講座では、図書館の豊富な資料・情報を活用しながら、授業や部活動などの身近なテーマや地域の課題などからアイデアを見つけ、高校生ならではの創造力を活かしたプランを作成することを同公庫職員と司書がサポートします。平成27年度には広島市立広島工業高等学校の生徒の、センサーを使って地域の高齢者を熱中症から守ろうというプランが、全国応募総数 2,333 件の中からベスト 10 位に選出され、優秀賞を受賞しています。

図書館は、自ら資料・情報を収集・分析し、判断するといった、主体的・能動的な学びである「アクティブラーニング」につながる機会や資料の提供など、学校と連携して支援します。高校生のみなさん、どうぞ図書館を活用してください！



平成 28 年度開催「第 4 回高校生
ビジネスプラン作成講座」

図書館司書がおすすめするこの 1 冊！「中学生・高校生の活躍」に関する本

児童書

『たまごを持つように』

まはら 三桃 / 著
講談社 2009 年



中学二年生の早弥が所属する弓道部の部員は、4人しかいません。三年生で有段者の由佳と、唯一の男子である春、弓道に対して天才的な感覚を持つ実良、そして早弥です。実良は初めから高い的中率で、大会でも好成績を残しますが、軽い言動を繰り返し、非常識な行動を取ります。入部から1年3か月経ち、やっと弦がまともに引けるようになった早弥は、実良に複雑な思いを抱きます。そんな中、実良がスランプになり、監督から夏の試合では実良ではなく早弥をメンバーに入れると発表され一。弓道を通じて自分を見つめ、仲間との絆を深めていく中学生の姿を描いています。

一般書

『みつばち高校生 富士見高校養蜂部物語』

森山 あみ / 著
リンデン舎 2016 年



長野県富士見町の高校には全国でも珍しい「養蜂部」があります。一人の高校生が養蜂部を立ち上げてから、農業高校の甲子園と称される日本学校農業クラブ全国大会へ挑戦していくまでの過程を物語のように書いたノンフィクションです。

生徒たちは、高校の部活動にとどまらず、地域や養蜂に関わる人々と交流しながら、自然への感謝と命の大切さ、地域とともに生きる意義について学び、成長していきます。

指導する先生や地域の大人たちの厳しくも温かいまなざしを受けながら、創部3年で日本一の栄冠に輝いた軌跡をたどってみてください。

この日は何の日？

♪ 7月1日は、童謡の日 ♪

広島市出身の鈴木三重吉は、子どもたちのために「芸術として真価ある純麗な童話と童謡を創作する」との思いから、大正7年（1918年）7月1日、児童雑誌「赤い鳥」を創刊しました。芥川龍之介の「蜘蛛の糸」や新美南吉の「ごんぎつね」など、多くの名作童話を生んだ「赤い鳥」の、記念すべき創刊号の巻頭を飾った作品は、北原白秋による童謡「りすりす小栗鼠（こりす）」でした。

創刊以後、毎号で発表される童謡には、当初、曲が付けられていませんでした。読者は、思い思いの抑揚やリズムで口ずさんでいましたが、次第に楽譜の掲載を求める声が高まり、大正8年5月号の「かなりや」（西条八十／詩 成田為三／曲）で初めて楽譜が採用されました。

詩、曲ともに芸術性が高く、歌う子どもたちに音楽的な喜びを与えられる童謡を目指した「赤い鳥」からは、「赤い鳥小鳥」「揺籠（ゆりかご）のうた」「あわて床屋」など、今日まで長く愛唱される童謡が誕生しました。また、当時、「赤い鳥」をきっかけに高まった童謡の人気は、レコードやラジオの普及とともに、全国へ広がりました。

日本童謡協会では、昭和59年（1984年）、「赤い鳥」が創刊された7月1日を「童謡の日」として制定し、童謡を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育むことを願い、活動しています。

来年、平成30年（2018年）7月1日には、「赤い鳥」創刊と、童謡誕生から100年の節目を迎えます。



右)「赤い鳥」創刊号（大正7年7月）

左)「りすりす小栗鼠（こりす）」北原白秋／詩 成田為三／曲
（「赤い鳥」大正8年9月号掲載）

このコーナーでは、図書館や本、文学などに関わる記念日をご紹介します。

休館日のお知らせ 7月～9月

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

□ 休館日

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

こども図書館 9月9日(土)～9月15日(金)
安佐南区図書館 9月29日(金)～10月5日(木)

編集・発行

Hiroshima City Central Library
広島市立中央図書館
(公益財団法人 広島市文化財団)
〒730-0011 広島市中区基町3番1号
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542
本の照会・相談専用 082(222)6440
F A X 082(222)5545
(携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)
(スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)